ベトナム株ファンド

ベトナム訪問記　ファンドマネージャーがみた躍動するベトナム
～ヒト・モノ・カネを引きつける魅力ある国　ベトナム～

2017年8月7日

お伝えしたいポイント

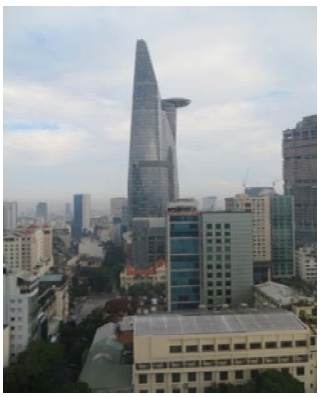
「ヒト・モノ・カネを引きつける魅力ある国　それがベトナム」

- 経済の急成長がヒト・モノ・カネを引きつける
- ヒトを引きつけるベトナム　～観光客の増加で潤う空港～
- モノを引きつけるベトナム①　～消費拡大が国内企業への追い風に～
- モノを引きつけるベトナム②　～中間所得層の増加と外資参入によるライフスタイル変化～
- カネを引きつけるベトナム　～巨大なインフラ（社会基盤）需要とインフラ投資拡大～

2017年7月下旬に、企業訪問と現地の生の状況を視察するために、ベトナムに出張してきました。

ファンドマネージャーとして大切なことは、投資している国の「今」を実際に自らの目、耳を使って感じることだと考えています。

今回、ベトナムを訪れ痛感したことは、ベトナムは急速な経済成長によってヒト・モノ・カネを引きつけるパワーを持っているということです。この訪問記を通じて、躍動するベトナムを感じていただければと思います。



中央は、ホーチミンで最も高い建物であるビテクスコ・フィナンシャルタワー。地上68階建て。

経済成長に伴い都市部は大きく発展中。

空港は観光客で大混雑。
観光関連産業の勢いを感じることができました。

活気あふれるホーチミン中心部のナムキーコイギア通り。
バイク天国ベトナムでは二人乗りは当たり前。

店先に整然と並べられたバイク。
これは勤勉な国民性のあらわれか！？

※写真は大和投資信託撮影。

当資料のお取り扱いにおけるご注意
■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
販売会社等についてのお問い合わせ⇒　大和投資信託　フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00 ）　HP http://www.daiwa-am.co.jp/

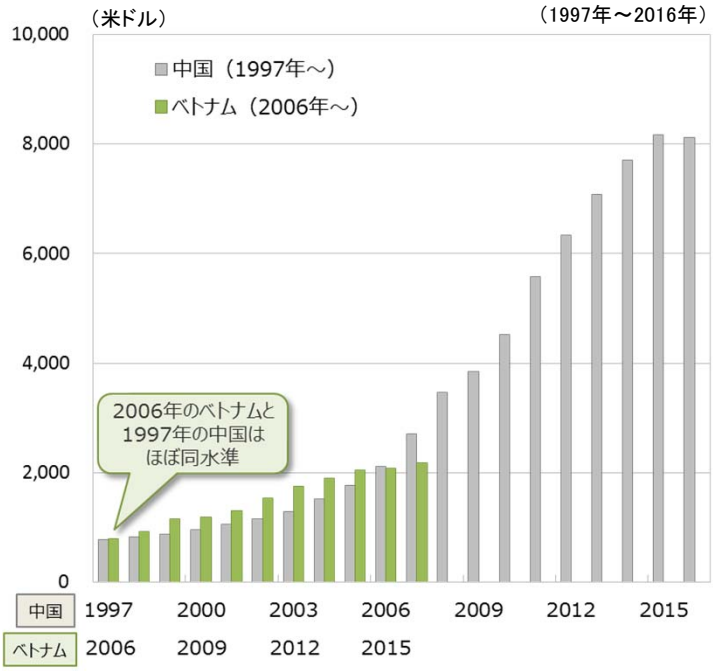
大和投資信託
Daiwa Asset Management

＜経済の急成長がヒト・モノ・カネを引きつける＞

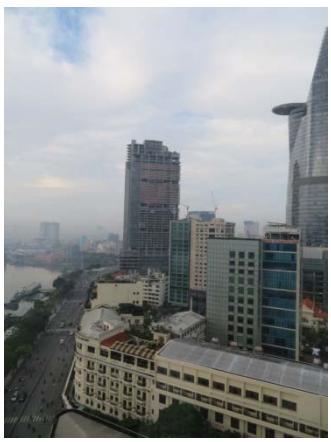
ベトナムでは、1986年にドイモイと呼ばれる経済改革が始まり、共産党支配下での市場経済への移行や、外資への市場開放を推し進め、高い経済成長を実現してきました。現在も、中国の後ろ姿を追いかける形で経済発展を続けています。

筆者は、ベトナム出身ということもあり、公私を含めて年に3～4回はベトナムを訪問していますが、建設ラッシュにより町並みが毎回様変わりしていると感じています。こういった点からも、経済発展が急速に進んでいることがうかがえます。

ベトナムと中国の１人当たり名目GDPの推移



※ベトナムの１人当たり名目GDPが今後中国と類似した動きをすることを示唆・保証するものではありません。



サイゴン川沿いの風景。
川の片側（写真手前）は高層ビルが立ち並んでいます。
一方、反対側はまだ殺風景。
開発余地の大きさと成長性の高さに期待。

大手ゼネコンであるコテコン・コンストラクションによるホテルプロジェクトの建設現場（写真上）。
写真左は完成後のイメージ。

道路では現在でもバイクが優勢（写真左）。
自動車の普及も進んでおり、2016年の
自動車数は前年から27%も増加（写真上）。

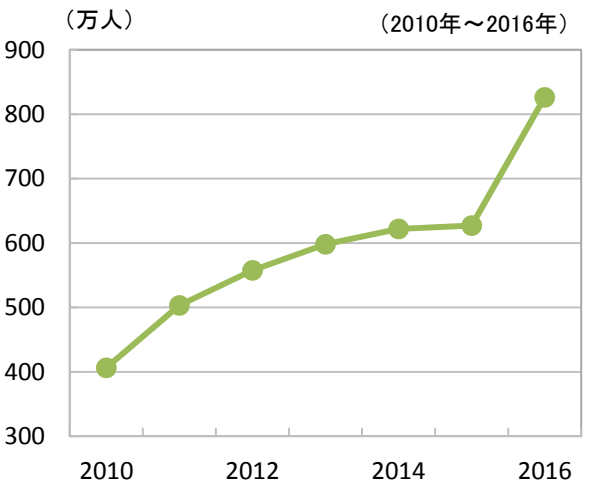
※写真は大和投資信託撮影。　（出所）IMF「World Economic Outlook Database April 2017」

＜ヒトを引きつけるベトナム＞　～観光客の増加で潤う空港～

主要国際空港であるタンソンニャット国際空港の状況を視察してきました。多くの旅行者がベトナムを訪れている姿を実際に目にすることができました。同空港は、ベトナム空港（AIRPORTS CORP OF VIETNAM JSC）が所有しており、観光客の増加等による恩恵が期待できます。

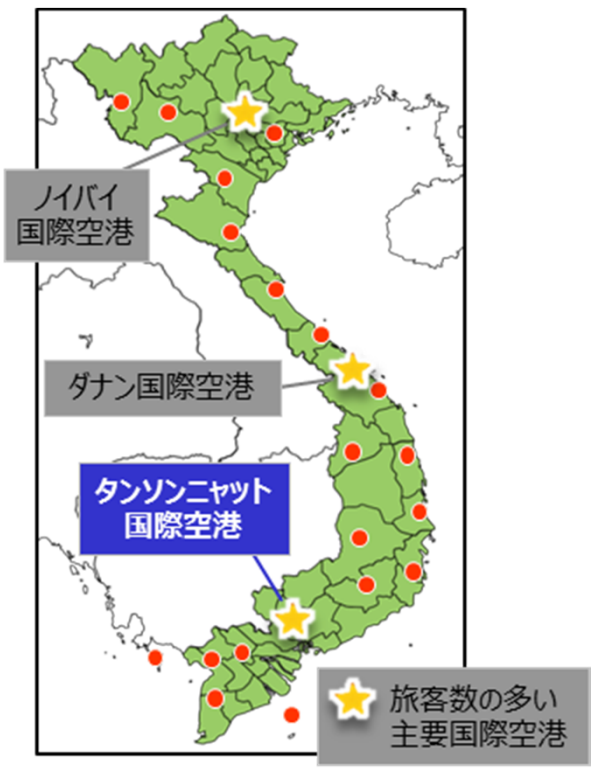
こういった力強い観光需要を受け、同空港では拡張工事が現在も進行中です。

外国人ベトナム旅行者数（空路）



多くの外国人観光客がベトナムを訪問していました。タンソンニャット国際空港では、キャパシティーオーバーの状態となっており、現在拡張工事が進行中です。

空港の所在地



免税店はまだ種類が少なく、現時点では買い物客もまばら。他のアセアン諸国における活況ぶりを勘案すると、今後の成長余地の高さがあるとみられます。

広告スペースにもまだ空きがあり、空港運営会社の収益成長の余地は高いとみています。

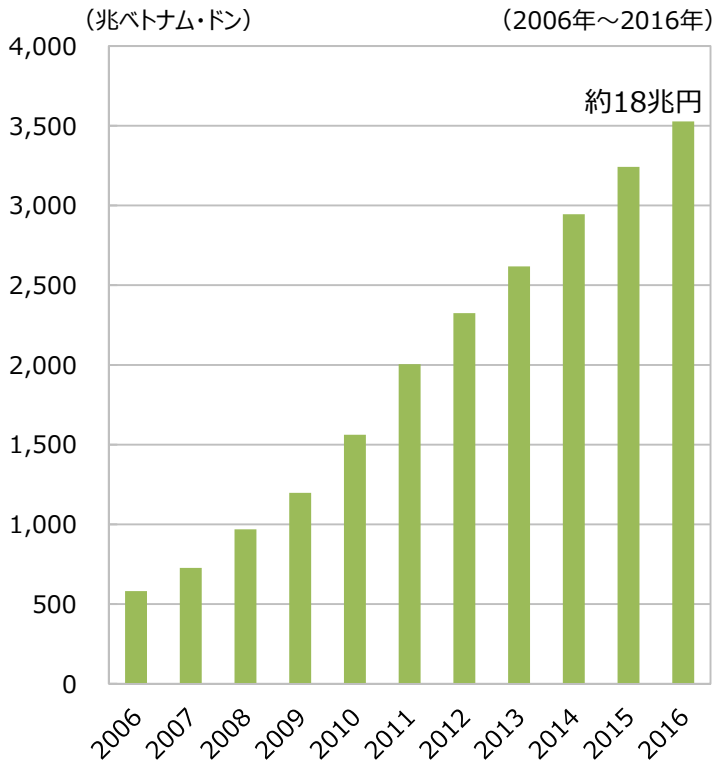
※写真は大和投資信託撮影。　（出所）VIETNAM NATIONAL ADMINISTRATION OF TOURISM

＜モノを引きつけるベトナム①＞
～消費拡大が国内企業への追い風に～

高い経済成長や人口に占める若年層の多さ、国民所得の増加などから、ベトナムは消費市場としての将来性が期待されています。

現在でも多くの人がローカルな市場や商店で日用品等を購入していますが、昨今ではコンビニやスーパーマーケットのような近代的な店も増加しています。特に、若年層を中心にコンビニやスーパーマーケットで買い物をする人が増えていると言われています。

小売売上高の推移



※2016年末値で円換算しています。

伝統的なパパママストア（小規模小売店）の風景。

コンビニやスーパーマーケットなどのより近代的な店が増加しています。

品物であふれるスーパーマーケットの様子。

※写真は大和投資信託撮影。　（出所）ブルームバーグ

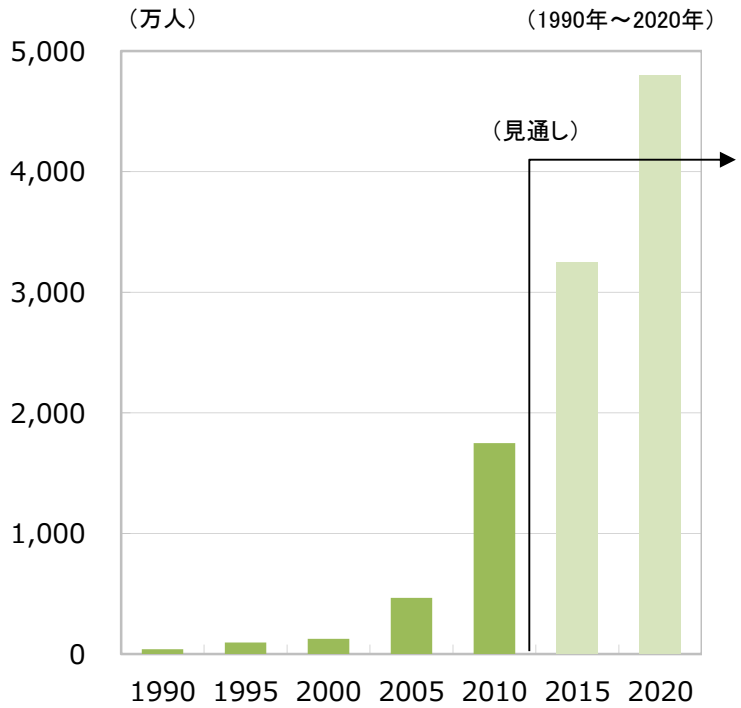
＜モノを引きつけるベトナム②＞
～中間所得層の増加と外資参入によるライフスタイル変化～

ベトナムでは、富裕層や中間所得層が増加傾向にあります。このような購買力の高い層をターゲットとして、海外の百貨店の進出も進んでおり、ライフスタイルの変化とさらなる消費拡大がもたらされると考えられています。

例えば、日本の高島屋は2016年7月にホーチミン市の中心部に「ホーチミン高島屋」をオープンしました。日本の百貨店がベトナムで開業するのは初めてで、日本ブランドの新たな発信拠点としても期待が寄せられています。

にぎわうショッピングセンターのフードコート。

中間所得者の推移



※世帯可処分所得5,000米ドル以上35,000米ドル未満の家計人口

2016年7月に「ホーチミン高島屋」をオープン。ベトナムで最大規模の百貨店となっています。

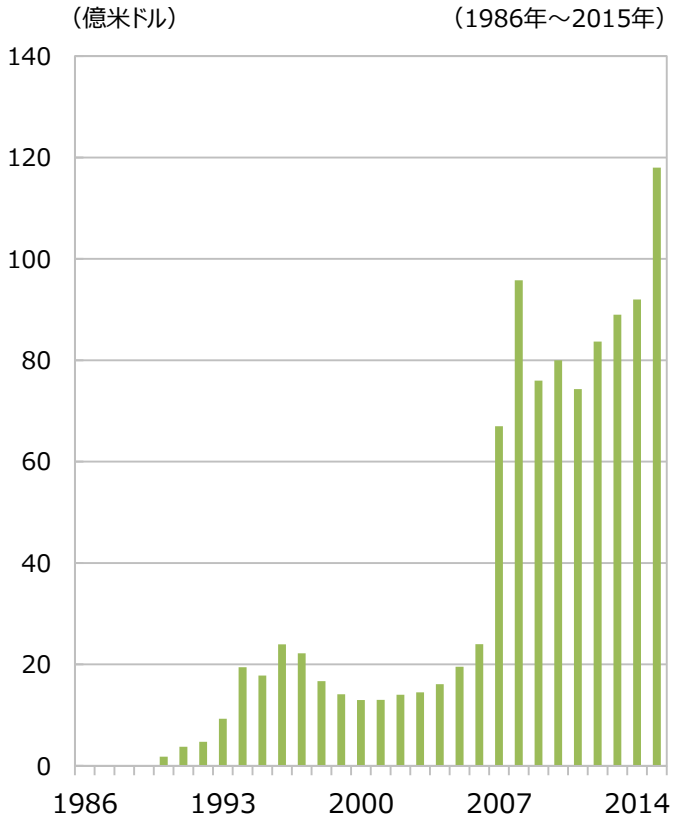
※写真は大和投資信託撮影。　（出所）ジェトロ

＜カネを引きつけるベトナム＞
～巨大なインフラ（社会基盤）需要とインフラ投資拡大～

近年右肩上がりで成長を続けているベトナムにおいては、着実にインフラ整備が進んでいますが、経済成長のスピードに比べるとまだまだ遅れています。インフラ投資では、こういった課題に対応するために、地下鉄の建設をはじめとしたさまざまな計画が進められています。

また、日本との関わりも深く、過去にはハノイを流れるホン川に架かるニャッタン橋が日本の政府開発援助（ODA）により建設されました。ニャッタン橋の建設によって、空港からハノイ中心部までの距離が短縮され物流が効率化される等、ベトナムの交通事情に大きな変化が起きました。

ベトナムへの海外からの直接投資の推移



日越友好橋と呼ばれるニャッタン橋。
ハノイ市街とノイバイ国際空港との間を結ぶ経路上にあり、首都ハノイ市の玄関口となっています。建設により物流の効率化、交通渋滞の緩和、移動時間の短縮などの効果がありました。

ホーチミンでは、地下鉄が2020年に開通予定です。歴史的建造物が立ち並ぶホーチミンでは、地下鉄工事は難易度が高いとされる中、日本企業と現地企業が協力して建設を進めています。

ハノイでも、地下鉄Metro Train（メトロ　トレイン）が建設中となっており、2020年に開通予定です。道路渋滞もかなり緩和されるとみられ、今後の移動手段のひとつとして地下鉄が発展していく見込みです。

※写真は大和投資信託撮影。　（出所）世界銀行

ベトナム株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

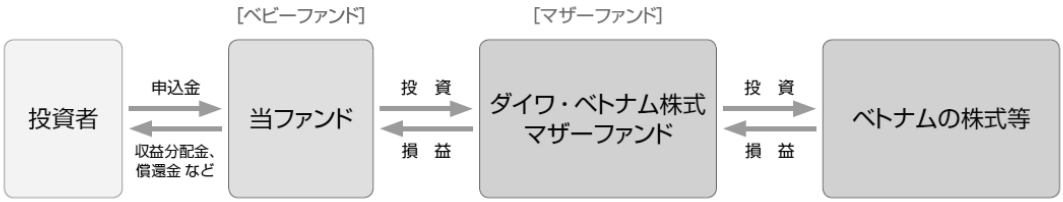
ファンドの目的・特色

ファンドの目的

●ベトナムの株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. ベトナムの株式等に投資します。
   ※株式…DR（預託証券）を含みます。
   ◆株式への投資にあたっては、経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業の財務状況、成長性、株価バリュエーション、流動性等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。
   ◆ベトナムの株価指数に連動するＥＴＦ（上場投資信託証券）およびベトナムの株価指数の値動きに償還価格が連動する債券(株価連動債)に投資を行なう場合があります。
2. ベトナムの株式等の運用は、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドが行ないます。
   ◆マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。
   ◆ベトナム株式への投資にあたっては、サイゴン証券株式会社の助言を受けます。
3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ベトナム株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24%（税抜3.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	―
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.7604% （税抜 1.63%）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：大和投資信託 Daiwa Asset Management

商号等　大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号

加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

2017年7月31日　現在

ベトナム株ファンド　取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
髙木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○
奈良証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
日の出証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第31号	○			
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。